

新しい長期計画（基本計画）の策定方針について

【ポイント】

基本的な方針

- ・開発基調（ハード重視） 既存ストックの有効活用（ソフト充実）へシフト
 - ・個別事業（やること）を羅列 どうしたいか（目標）と方向性の提示に軸足
計画推進の仕組みづくり
 - ・計画に基づき、重点的に取り組む分野は毎年度「重点戦略方針」で示し、予算編成（事業化）に反映 柔軟性と実効性の両立、選択と集中の徹底
 - ・54施策ごとに成果指標（数値目標）を設定 毎年度の検証結果を踏まえた「重点戦略方針」と各部局の主体性発揮により計画推進
- #### 24年度当初予算編成への反映
- ・計画を24年度当初予算において反映 年内を目途に策定

1 基本計画の策定方針（位置づけ、ねらい）

《長期計画全体の中での位置づけ》

- ・基本構想で掲げた概ね10年後の将来像を実現するための当面4年間のアクションプラン

《政策体系の整理》

- ・4つの愛顔づくり（基本政策）について、より具体的な目標を20政策に整理。それぞれの政策目標に向けて取り組む54施策を明示

《知事公約の推進》

- ・政策体系（施策）の中に知事公約を位置づけて着実に推進

《4つの視点に沿った施策展開》

- ・基本構想で示した4つの視点（つながり、オリジナル、コーディネート、ニュー・フロンティア）に沿って取組みの方向性を検証、再構築

《現状を打破する新たな取組みへの挑戦》

- ・社会経済情勢や財政状況など厳しい現状を受け止めつつ、夢を描く姿勢で新たな取組みを創造、明示

2 基本計画の概要

主要構成

分野別計画（政策体系で区分）

- ・愛顔づくりに向けた20政策ごとに目指す方向を記載
- ・20政策で示した目指す方向に進むための54施策（具体策等）を記載

【記載内容（54 施策）】

目標	・ 4年後にこうしたいという目標（言葉で表現）
指標	・ 目標を数値化した指標（原則、毎年度検証可能なアウトカム）
現状と課題	・ 目標を実現する視点で分析した現状と浮き彫りになった課題 ・ 本県の特殊事情等を重点的に記載
取組みの方向	・ 現状と課題を踏まえた施策全体の取組みの概要
主な取組み	・ 新たな取組み、拡充する取組み、知事公約に関する取組みなど、施策推進の中心となる取組み。

地域別計画（東・中・南予で区分）

- ・ 地域の特性と課題を踏まえた地域づくりの方向を記載
- ・ これまでの地域振興重点化プログラム（地方局予算の根拠）の機能を含むもの

【記載内容】

地域の特性	・ 地域固有の特性（活かすべき潜在力）
地域の課題	・ 将来像の実現に向けて解決すべき地域の課題
振興方策	・ 地域の特性や課題を踏まえた地域づくりの主な取組みを示す。

推進姿勢

- ・ 基本構想で示した「挑戦」「連携」「創造」の3つを柱に、長期計画を推進するための県の基本的姿勢（県政運営の姿勢になるもの）を記載。

3 今回の中間案取りまとめの考え方

- ・ 上記の策定方針等に基づき策定する基本計画のうち、主要部分となる「分野別計画」及び「地域別計画」について、骨格部分を中間案として整理
- ・ この中間案をたたき台として策定会議や地域別懇談会等に示し、幅広く意見を聞きながら肉付け（成果指標の目標設定、取組み内容の具体化など）を行い、パプコメ（案）の検討を進める。
- ・ 「推進姿勢」については、検討中の新しい行政改革大綱との整合を図りながら作成し、パプコメ（案）として提示する予定。